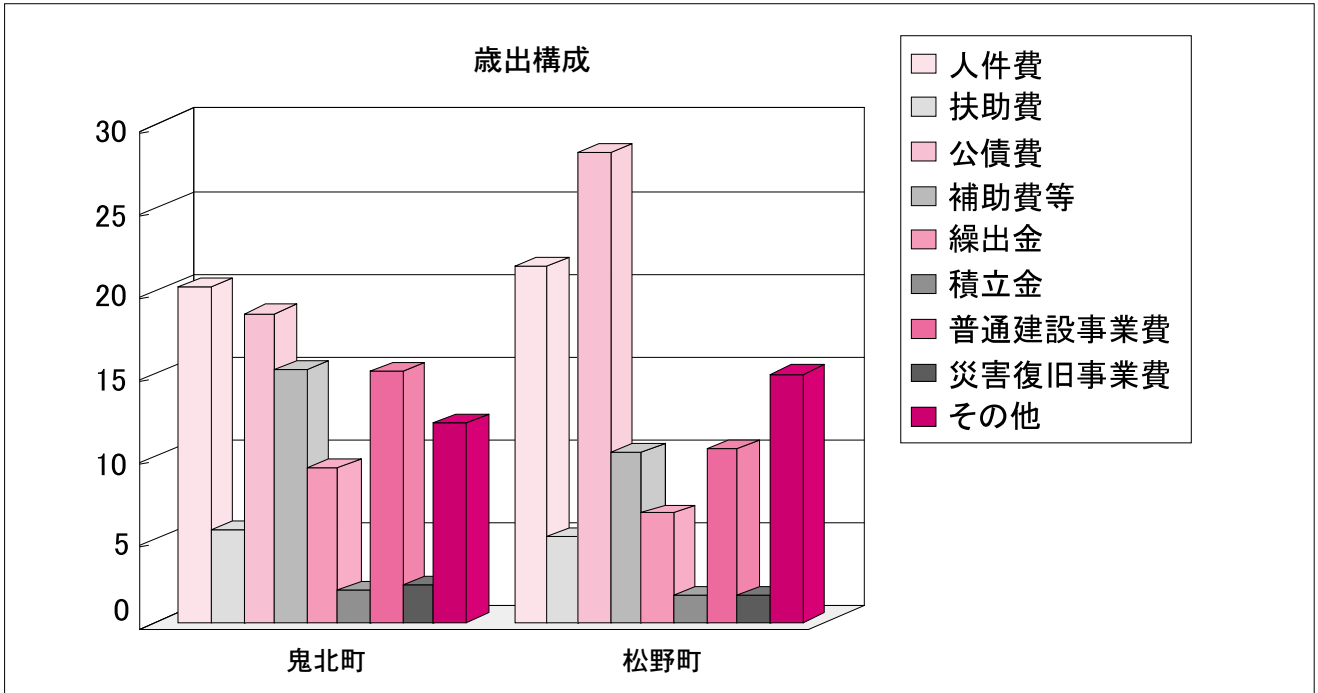


グラフ②



に近いほど財源に余裕があるといえます。

経常収支比率

収入に対して人件費や公債費といった毎年必ず出ていくお金がどのくらいの割合になっているかを示すものです。比率が高いほど自由に使えるお金がなく、住民ニーズへの対応が困難といえます。

公債費比率

財政構造の健全性（長期安定性）を示すもので、標準財政規模に対して、返済額がどの程度であったかを示すものです。

起債制限比率

地方税、普通交付税のように使い道が決まっておらず毎年常に入ってくるお金のうち、公債費（借金）に充てられたものの占める割合を示したものです。比率が20%以上で一部、30%以上でほとんどの起債（借金）が制限されます。

実質公債費比率

町が全体として借入金の返済のために一般財源からのかなりの支払っているかを示すものです。比率が18%以上になると起債（借金）発行に許可が必要になります。

松野町は経常収支比率と公債費比率が高く、鬼北町は経常収支比率と実質公債

比率が高い状況です。この財政指標は、特に地方交付税の減少に伴い悪化しており、現状では両町とも財政健全化に対する県の指導を受けながら、将来にわたり指標の改善に努めています。普通会計における地方債現在高は、鬼北町が97億2,575万7千円、松野町が49億5,265万8千円で、併せて146億7,841万5千円となっています。

表⑤ 財政指標等

区分	鬼北町 12,549人	松野町 4,751人	
標準財政規模（千円）	4,325,119	1,968,249	
財政力指数（16～18年度）	0.24	0.17	
経常収支比率（%）	92.8	94.3	
公債費比率（%）	16.5	21.7	
起債制限比率（3ヶ年平均）（%）	13.1	13.7	
実質公債費比率（3ヶ年平均）（%）	18.4	15.1	
地方債現在高（千円）	9,725,757	4,952,658	
住民一人あたりの地方債現在高（千円）	775	1,042	
基金現在高（千円）	1,206,837	549,569	
内訳	財政調整基金	247,801	282,826
	減債基金	38,187	1,312
	特定目的基金	707,695	180,292
	定額運用基金	213,154	85,139
住民一人当たりの基金現在高（千円）	96	116	